

## モンゴルの年金実務担当者が来日

－日本の年金制度や実務を学び、遊牧民を含む国民の皆年金達成に生かす－

11月10日から11月22日まで、モンゴルで年金政策、年金実務を担当する中央・地方行政官16名が、年金実務の能力向上を目的とした研修の一貫として来日します。

モンゴルでは、被用者は強制加入、自営業者や遊牧民等は任意加入とする年金制度が運営されていますが、運営面の課題として、遊牧民等のインフォーマルセクターの加入促進、年金加入者及び受給者に対する丁寧な説明、国民向け広報手段の改善等があります。そのため、モンゴル政府は、日本政府に対して、年金分野を中心とした社会保険分野における関係職員の能力向上等を内容とする技術協力を要請し、JICAは2016年5月から2020年5月までの4年間の予定で、労働・社会保障省及び社会保険庁に対し、技術協力プロジェクト「社会保険実施能力強化プロジェクト」(通称: SINRAIプロジェクト)を実施しています。

プロジェクトでは、2015年9月25日第70回国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」における持続可能な開発目標の一つ「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」ことも念頭に置き、現在の社会保険制度を運用する上での業務改善や職員の能力向上に加え、将来の年金財政を適正化するための年金数理(人口推計、財政検証等)に関する知識の向上にも取り組んでいます。

今回の日本研修にて、一行は、日本の年金制度の実務に関連する様々な機関を訪問し、制度の成り立ちや実務面の最新情報について視察・情報意見交換を行います。

<研修期間>2019年11月10日～11月22日

<研修参加者>労働・社会保障省の年金政策担当行政官、社会保険庁の年金実務担当行政官、県レベル社会保険事務所の担当行政官(ウムヌゴビ県、ザブハン県、ドルノド県、ウランバートル市特別区)、労働・社会保障研究所職員 計16名

<研修協力機関>厚生労働省、日本年金機構、国立社会保障・人口問題研究所

取材可能なプログラムは以下のとおりです。ぜひ取材をご検討ください。

### 【取材可能な日程】

11月12日(火)	9:30～16:00 ※冒頭、頭撮りのみ可能	日本年金機構 日本の年金実務についての講義、情報・意見交換をします。
11月18日(月)	10:00～16:30	国立社会保障・人口問題研究所 年金数理についての講義、情報・意見交換をします。
11月19日(火)	10:00～16:00	厚生労働省 日本の年金制度についての講義、情報・意見交換をします。

**【本件に関する お問い合わせ先】**

◆ 内容についてのお問い合わせ： 独立行政法人国際協力機構（JICA）  
人間開発部高等教育・社会保障グループ 高橋 洋平  
TEL：03-5226-8352 E-mail: [Takahashi.Yohei@jica.go.jp](mailto:Takahashi.Yohei@jica.go.jp)

※取材ご希望の方は 独立行政法人国際協力機構(JICA) 人間開発部高等教育・社会保障グループ  
(担当:高橋 洋平 <電話番号:03-5226-83525>)まで御連絡下さい。研修員へのインタビュー取材を  
ご希望の方は、その旨併せてお知らせください。

◆◆プロジェクト HP◆◆ <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/index.html> もご覧ください。